

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 2 月 5 日

公表:令和 6年 3月28日

事業所名 さくら総合発達支援センター ホープ

回答率:79%(19/24人中)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	コメント・意見	工夫している点
						課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	6		・夏休み、冬休みに関してはスペースが適切とはいえないです	児童の特性に合わせた空間の使い方を検討していく
	2 職員の配置数は適切である	9	10		・多動、自閉傾向強め、月齢低め、他害あり等色々な児童が通ってくるため、事故や怪我を起こさないために人員が欲しい時がある。売上どうのもわかりませんが。 ・その日の職員、利用者によっては人員が足りないと感じる事もある ・送迎の付き添い者がいるとト	・児童の特性に合わせて必要人数以上配置できており、今後も継続していく ・職員配置だけではなく、児童の特性に応じた環境整備や研修等による職員の支援技術の向上を併せて実施していきたい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	8		・ワンルームなので難しい面もありますが、食事をする場所、自由に過ごす場所、本を読む場所等区切りがあると、子どもたちにとっては取り組むべき内容がより分かりやすくなると思います ・トイレや入口の段差など適切とはいえないです ・今年度は、1日の予定・支度することの掲示や、名札のようにイラストマークを使用したり、視覚化が増えたことで、子どもたちに情報が伝わりやすくなったのではと感じました	・制作や個別リハ等活動に応じて空間を分ける等の配慮をしている ・ワンルームの中でもよりわかりやすく過ごせる環境整備検討していく ・段差は必要に応じて踏み台やスロープ等の資源を使用していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	17	1	1	・食事の前後や、夕方の全体の消毒・掃除が、日々のルーティンとなっているため、生活空間を清潔に利用できるところがとても良いと思います	・引き続き清潔に保てるよう実施していく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	12	2	・勤務時間が限られているパートさん達は時間的に無理	・リモート会議等を使用して実施できる体制作りをしていく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15	4			・毎年実施しており、今後も継続していく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	4			・毎年実施しており、今後も継続していく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	13	1		・今後外部からの評価体制を設ける必要がある
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	4			・研修は実施しているが外部研修は特に受講に偏りがある為、全職員が受講できる体制作りが必要である
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	17	2			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	10			・標準化されたツールの使用は無いが、児童の特性に応じた状況判断している ・現在標準化されたツールの整備をしている為、活用していきたい
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	6			・個別支援計画に記載あり、今後も継続している
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15	4			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	9		・実施しており、今後も引き続き継続していく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15	3	1		・様々な職員からアイデアを出してもらう等で実施しており、今後も工夫していく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14	5			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	7	2	・送迎に出たりパートさんの勤務時間などで出来ない ・行っているが必ずしも無い	・日によって実施にばらつきがある為、安定して行えるよう体制作りが必要
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	8	2	・振り返りの時間まで勤務していないため不明ですが必要な時には丁寧に相談に乗っていただいています	・日によって実施にばらつきがある為、安定して行えるよう体制作りが必要
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	3	1		・日々徹底している為、今後も継続していく	

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	16	3			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15	3	1		・実施しており、今後引き続き継続していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13	6			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	12	7			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10	9			・保護者の方を通じて関わっている部分や、緊急の病院の連絡先がシェアされている部分以外携わっていないため、分かりませんでした
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	2			・保育所等訪問支援も活用しながら情報共有や相互理解を実施できており、今後も継続していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	5			・学校によっては連携が難しいこともあり、課題である
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	10	1		・実施しており、引き続き継続していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	6	9		・公園へ外出した際、関わる機会が多い
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	15	2		・実施しており、今後も引き続き継続していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	17	2			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	10	3		・家族会を計画しており、継続して行えるよう体制を整えていく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15	4			・契約時に実施している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	16	3			・実施しており、引き続き継続していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15	4			・送迎時や連絡帳等を通して実施しており、引き続き必要に応じて実施していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	7	6		・家族会を計画しており、継続して行えるよう体制を整えていく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15	4			・送迎時や連絡帳等を通して実施しており、引き続き必要に応じて実施していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	10	2		・会報等を発行しているかは知らないが、適宜情報を発信している ・日々の連絡のやりとりや、Instagramで、行事や活動概要を発信することができていると感じました
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	16	3			・今後も引き続き継続していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	19				・口頭だけではなくLINEやHUG等様々なツールを用いて配慮することが出来ている
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	8	8		・必要に応じて計画していく
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	5			・実施できているが偏りがある為全職員が参加できるような体制作りは必要
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	5	1		・年間計画を立てて実施しており、今後も引き続き継続していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	3	1		・実施しており、今後も引き続き継続していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	4	1		・現在該当児童いないが、在籍時はアレルギー対応を実施している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	17	2			・実施しており、今後も引き続き継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	7			・毎年実施しており、今後も継続していく
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15	4			・実施しており、今後も引き続き継続していく	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。